

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター
2022年度事業報告書

(第20期：2022年6月1日より2023年5月31日まで)

<目次>

■ 2022年度事業の方針

■ 2022年度所信

I 全体の概要

II 運営について

1. 諸会議の開催状況（※詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）
2. 財政の状況について（※詳細は資料2 決算書を参照）
3. 事業・会務・事務局等の運営全般について（※詳細は資料3 定款、資料4 諸規定を参照）
4. 資産の取得、機器の更新等について

III 個別に行った事業について

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

2-(4)-1 桑名市市民活動センター管理運営業務受託

2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

2-(4)-4 各種講座への講師派遣

2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援

2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- －(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- －(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

■ 2022年度事業の方針

- (方針1)「市民活動を支援する事業を行う」
- (方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」
- (方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」
- (方針4)「低コストで運営を行う」
- (方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」

■ 2022年度所信

新型コロナウイルスの影響も3年目に入り、感染状況を見ながら、不特定多数を集めるようなイベントも開催されるようになって、直接顔を合わせて場を共有することができるようになってきました。また、SNSの活用も進み、オンラインによる講座も活発に行われています。

一方、ロシアのウクライナ侵攻は終わりが見えず、また、地球温暖化の影響で世界各地で大雨や高温による被害も続出しており、世界情勢は混とんとして来ています。

市民の力が問われている時代であり、「個人の自由な社会貢献活動」が「多様」そして「持続的」に行われることにより、社会のさまざまな課題を解決していくことを見出していく必要があります。

私たちは、これまで取り組んできた「市民活動の応援」を進め、「市民活動応援☆きらきら基金」をより充実させていくことで、市民活動団体間の「資金・資源」の循環を増やし、企業や他地域からの新たな資源の流入をつくりだしていきたいと思えます。これらの取り組みにより、「新たな可能性」「新たな価値観」「新たなサービス」が生み出され、この地域での課題解決になることを願っています。

つきましては、皆様の一層のご理解、ご参画、ご協力を心よりお願い申し上げます。

2022年度事業計画書

前述の事業の方針ならびに所信にもとづき、以下のように事業を進めていきます。

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

2-(4)-1 桑名市市民活動センターの管理運営業務受託

2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

2-(4)-4 各種講座への講師派遣

2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援

2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- －(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- －(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

I 全体の概要

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センターは、平成16年4月法人登記をして設立しました。決算期の関係で第1期は2ヶ月であり、今期（第20期）は実質的にまる19年が終了する時期になります。

令和4年度前半は新型コロナウイルス感染拡大防止のためまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の繰り返しでしたが、令和5年にはいり、少しずつ人が集まるイベントも開催され、5月の連休明けには5類相当となり、ほぼ、コロナまえの状態に戻りつつある状況です。

当会が進めている「市民活動応援☆きらきら基金」も、3月に「第15回助成事業」をくわなメディアライヴ多目的ホールにて開催することができました。

さて、当期の当会の事業の方針は、(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」、(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」、(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」、(方針4)「低コストで運営を行う」、(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」というものでした。

まず(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」については、桑名市市民活動センターの管理運営業務を受託し、団体への具体的な支援、助言などを行い、市民活動についての情報の提供を継続的に行いました。

(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」については、きらきら基金助成事業の中でエントリー団体をもっと知っていただく質問・感想の時間をプログラムに組み込みました。

(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」では、みえNPOネットワークセンターの経営会議に太田理事が参画しました。みえきた市民活動センターとしては、域内の団体と協働して市民活動応援☆きらきら基金第15回助成事業を開催し、5団体1事業に、合計231,200円を助成しました。並行して、地域の市民活動団体訪問調査、まちのかわらばんの発行を行いました。

(方針4)「低コストで運営を行う」では、寄附金と、桑名市市民活動センター運営支援業務、及び、みえNPOネットワークセンター関連事業収入などで754万円ほどの収入があり、支出は762万円ほどでした。認定NPO法人の見なし寄附で所得税が控除され、地方税を引いて、14万円ほどの赤字となりました。収入のうち、助成の原資と運営に用途限定している寄附金を75万円ほど繰り越しました。

(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」については、42個のカエル・こぶたの募金箱を、個人や市民活動団体関係者、企業や商店、桑名商工会議所女性部の皆さんなどにご協力いただき、期中に101口35万円を越える助成原資へのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

これらの取り組みについては、会員間の連絡を密にし、さまざま検討を行った上で、実施しました。

II 運営について

1. 諸会議の開催状況（*詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）

今年度、総会は1回（2022年7月25日）開催し、理事会は4回（2022年7月22日、7月25日、2023年2月7日、5月8日）開催しました。その他に必要なに応じて個別の会議を開催し、5回にわたって行ったきらきら基金運営委員会での機会や役員（理事・監事）メーリングリストなどを有効に活用して「相談・提案・報告・了承」を行い、当会の全体状況の把握や進んでいる方向の確認、個別の事業のスタンスなどの情報を共有しました。

2. 財政の状況について（*詳細は資料2 決算書を参照）

今期は、754万円ほどの収入があり、762万円ほどの支出がありました。このうち、寄附金収入が35万円強ありました。また、認定NPO法人であるため、収益事業の37万円強の課税事業所得を、見なし寄附金として非課税事業に繰り入れることができました。最終的に282万円強の次年度繰越金（使途限定寄附金を含む）を生むことが出来ました。前期末の正味資産額296万円ほどに、今期の増減額14万円ほどを引いて、今期末の正味財産額は282万円となりました。そのうち、助成の原資と運営に使途限定している寄附金は75万円強あり、一般正味財産は207万円ほどです。

経常収益では、非課税部門では、基本となる会費が12名で2.4万円、きらきら基金関連事業への寄付が35万円、そのうちきらきら基金助成原資への寄附が35万円でした。また課税部門では、みえNPOネットワークセンター参画支援事業が4.9万円、桑名市市民活動センター管理運営受託事業が705万円ほどでした。

経常費用では、経費的支出が762万円でした。非課税部門の支出は、きらきら基金の運営費が31.3万円と31.3万円の赤字、助成金支出が23.1万円と1.1万円の黒字、その他事業が0.6万円の黒字で、非課税部門合計で18.6万円の赤字となりました。課税部門では、桑名市市民活動センター管理運営受託事業が666万円の支出で38.6万円の黒字でした。その他事業は1.5万円ほどの赤字となり、37万円ほどの黒字が、みなし寄附制度により全額非課税となりました。

3. 事業・会務・事務局等の運営全般について

さまざまな事業を同時並行的かつ継続して行ったため、会務の役割分担は半数以上の理事がフルにうごきましたが、ITを活用してこまめに情報を共有することでお互いにカバーすることができました。一連の事業について、きらきら基金事業の市民活動団体取材と助成事業、まちのかわらばんなどにおいて、理事たちの大きな負担となりました。また「桑名市市民活動センター管理運営受託事業」「みえNPOネットワークセンターへの支援」についても、負担が少数の理事に集中しました。

4. 資産の取得、機器の更新等について

基本的に資産はありません。また、今期の資産の取得、機器の更新等もありません。具体的な資産の取得や機器の更新などに関する特記すべき事項はありませんでした。

Ⅲ 個別に行った事業について

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

- 1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加
- 1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画
- 1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携
- 1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加

市民活動応援☆きらきら基金の運営委員会の中で、地域課題の発見と解決について議論をした。また、桑名市、いなべ市、東員町、三重県の市民活動センターが主催する講座に参加して地域課題の収集に努めた。

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

今年度は特になし。

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携

2016年度から毎年持ち回りで開催してきた「桑員地域市民活動センター情報交換会」は、2022年度は桑名市市民活動センターが担当して、11月25日に開催され出席しました。

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

今年度は、第15回助成事業の中で、第9回企業の社会貢献活動紹介を行いました。

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

- 2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査
- 2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加
- 2-(4)-1 桑名市市民活動センター管理運営業務受託
- 2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援
- 2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援
- 2-(4)-4 各種講座への講師派遣
- 2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援
- 2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

今シーズンは、2022年6月から2023年3月までの間に、新たに3団体の取材を行いました。

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

いなべ市市民活動センター主催のスマイルフェスタ（2022年6月18日）に展示出展しました。桑名市市民活動センター主催の市民活動サマーフェスタ（2022年8月24日）と市民活動ウィンターフェスタ（2023年3月4日）に参加しました。

2-(4)-1 桑名市市民活動センター管理運営業務受託

昨年度に引続き「桑名市市民活動センター管理運営業務」を受託し、市民活動団体への支援を行いました。

具体的には、桑名市市民活動センターの印刷機使用収納業務などのセンターの機能に関する管理運営業務を行うとともに、登録団体会議（旧名称：登録団体代表者会議）やNPOカフェ（2023年4月から名称変更し、市民カフェ）を開催し、団体間のコミュニケーションを円滑にし、お互いの持つ問題意識や解決手段、ネットワークの相互の有効活用に必要な信頼関係を培うことができました。

窓口相談業務は、昨年同様、活動場所、法人設立、定款作成、助成金申請、IT・PC技術、連携など多岐にわたりましたが、IT・PC技術の相談が数倍に増えました。

市民活動団体の活動内容に関する積極的な情報発信として、情報誌「NPO活動ニュース」を6回（6月、8月、10月、12月、2月、4月臨時号）発行し、地域のショッピングモールや商店街での掲示、配布も行いました。またホームページによる情報発信を増やし、さらに今期からFacebook、Instagramによる情報発信を頻繁に実施し、情報発信を大幅に強化しました。

研修会・講座の企画・実施では、職員研修（新規採用職員対象）を7月12日及び11月15日の2回、「私たちが課題解決の主人公 一人ひとりが課題解決の主体者になる協働」と題して、講義とワークショップ形式での講座を実施しました。また、職員研修（全職員対象）を11月21日、「NPO」をテーマに実施しました。

市民・団体向けとして、ITリテラシー講座「シニアのスマホ講座」を3回行いました（7月27日、9月14日、10月12日）。また昨年度から続く防災講座として9月26日「シン・ボウサイ」、その他に10月24日「わたしたちのSDGs」、11月14日「人財バンクってこんな事できるんだ」説明会、10月19日テーマ別交流会「ピンクリボン月間～乳がんの罹患を考える」、1月18日防災ボードゲーム体験会などを行いました。

2-(4)-2 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2003年4月の団体設立時から引き受けている同団体の事務局を担っていますが、今年度は、コロナの影響で、7月に東員町総合文化センターにおいて、臨時総会と交流会を行うに止まりました。

2-(4)-3 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

理事の派遣を行い、期間中関係会議に 13 回出席（12 回はオンライン、1 回はみえ県民交流センター）。第 1 回県民応援プロジェクトの説明会に参加（なやプラザ）。東海ろうきん「子どもの未来応援寄付金」選考会出席（みえ県民交流センター）。市民活動に関する政策対話出席（みえ県民交流センター）。

2-(4)-4 各種講座への講師派遣

2022 年 11 月 24 日、桑名北ロータリークラブの「出前講座」事業に理事が参加。津田学園小学校において、「ボランティア」をテーマに授業を行いました。

2-(4)-5 前掲以外の市民活動への支援

今年度は特になし。

2-(4)-6 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営

桑名員弁地域で活躍する身近な市民活動を応援するため、きらきら基金プロジェクトを推進しました。5 回の運営委員会と 1 回の審査会を開催しました。これらをベースに、2022 年 12 月 18 日に桑名市寺町商店街においてサンタの行進開催、約 80 名が参加。そして、2023 年 3 月 18 日にくわなメディアライブにて開催しました。81 名が参加し、5 団体 1 事業に 231,200 円を助成しました。

今期はカエル・こぶた募金箱を 42 個設置いただきました。101 口 351,149 円のご寄附をいただき、231,200 円を助成しました。余剰金は次年度以降に繰越いたします。まちのかわらばんを 2 回発行しました。

このプロジェクトの実施体制は、当会が設置した「きらきら基金運営委員会」が主催し、特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター、特定非営利活動法人 いなべ子ども活動支援センター、特定非営利活動法人 生ごみリサイクル思考の会が協働する形で共催しました。後援は、三重県、桑名市、いなべ市、東員町、木曾岬町、桑名市社会福祉協議会、いなべ市社会福祉協議会、東員町社会福祉協議会、木曾岬町社会福祉協議会、桑名商工会議所、桑名三川商工会、まちのファンクラブ。助成原資は皆様からのご寄附を充てさせていただきました。

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- (5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- (6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

3-(6)-1 「桑員まちのかわらばん」の発信

2022 年 12 月より 2022 年 4 月まで、桑員まちのかわらばんを 2 回の発行・配布・配信しました。

☆2023 年 4 月 20 日号(117 号)：1500 部発行(A4 版 2P:カラー)

「第 15 回市民活動応援☆きらきら基金」の報告

☆2022 年 11 月 20 日号 (116 号)：1500 部発行(A4 版 2P カラー)

「きらきら基金第 15 回助成事業助成団体募集、昨年度助成団体の報告」

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

小規模の市民活動団体にとっては、たくさんの人たちに自分たちの活動を伝え、情報を共有し、サービスのご案内などを行うのに、インターネットメディアの活用ははずせません。当会ではさまざまなメーリングリストやブログを活用しました。

★みえきた市民活動センターホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

★日本財団 CANPAN ブログの「みえきたページ」 <http://blog.canpan.info/miekita/>

★日本財団 CANPAN ブログの「きらきらページ」 <http://blog.canpan.info/kirakiraboshi/>

■諸会議の開催状況

今年度、総会は1回(2022年7月25日)開催し、理事会は4回(2022年7月22日、7月25日、2023年2月7日、5月8日)開催しました。その他に必要なに応じて個別の会議を開催し、5回にわたって行ったきさら基金運営委員会での機会や役員(理事・監事)メーリングリストなどを有効に活用して頻繁に「相談・提案・報告・了承」を行い、当会の全体状況の把握や進んでいる方向の確認、個別の事業のスタンスなどの情報を共有しました。

●2022年度第1回通常総会議事録

日時：2022年7月25日(月)午後7時から8時まで

場所：パブリックセンター2階和室

出席者：正会員4名 監事1名 委任状4名

社員：小笠原まき子、大矢知由起、近藤順子、加藤等

監事：大矢知哲也

委任状：伊藤香、白尾豪紀、太田みよ子、松永章吾

<審議議案>

第一号議案 令和3年度事業報告案について

第二号議案 令和3年度決算案について

第三号議案 理事の選出について

第四号議案 令和4年度事業の方針案ならびに所信案、事業計画案について

●2022年度第1回理事会

日時：2022年7月22日(金)19時~20時25分

場所：リモート会議

出席者：理事5名、監事1名

理事：小笠原まき子、大矢知由起、太田みよ子、近藤順子、白尾豪紀

監事：大矢知哲也

<審議事項>

第1号議案 総会について

第2号議案 県民応援プロジェクトについて

第3号議案 クラウドについて

●2022年度第2回理事会

日時：2022年7月25日(月)午後8時から8時45分まで

場所：パブリックセンター2階和室

出席者：理事4名 監事1名

理事：小笠原まき子、大矢知由起、近藤順子、加藤等

監事：大矢知哲也

<審議事項>

第1号議案 令和4年度事業計画について

第2号議案 令和4年度予算について

第3号議案 令和2年度決算報告の修正について

●2022 年度第 3 回理事会

日 時：2023 年 2 月 7 日（月）午後 8 時 30 分から 9 時 15 分まで

場 所：リモート会議

出席者：理事 4 名 監事 1 名

理 事：大矢知由起、近藤順子、太田みよ子、加藤等

監 事：大矢知哲也

<審議事項>

第 1 号議案 白尾豪紀さんの労災申請について

第 2 号議案 みえ NPO ネットワークセンターへの理事派遣について

●2022 年度第 4 回理事会

日 時：2023 年 5 月 8 日（月）19 時～21 時

場 所：リモート会議

出席者：理事 6 名

理 事：小笠原まき子、大矢知由起、近藤順子、白尾豪紀、太田みよ子、加藤等

<審議事項>

第 1 号議案 桑名市市民活動センターの新年度体制の件

第 2 号議案 かわら版特別号についての件

第 3 号議案 決算に向けての件